

## 京奈和自動車道（大和北道路） 環境影響評価準備書説明会の概要（4/9）

対象地域	：奈良市辰市地区
日時	：平成18年10月13日（金）19：30～21：00
場所	：奈良市立辰市小学校
出席者	：30名

### 【主な質疑応答】

- パンフレット p7 に粉じんの数値が書いてある。国道24号の粉じんは砂埃を含めたものか。数字では実感を伴わない。国道24号の現状の数値と比べて教えて欲しい。
  - 大気質の現況調査は行っており、NO<sub>2</sub>の数値は準備書 p9-1-40 ～に記載のとおりです。  
西九条町での NO<sub>2</sub> のバックグラウンド濃度は 0.015ppm、寄与濃度は 0.0032ppm であり、年平均値は 0.018ppm となります。また、環境基準との予測結果の比較は、年平均値の年間 98 % 値に変換することにより比較を行っています。（県）
- 砂埃はどうか。道路が2本になり単純に2倍になるのでは。
  - 砂塵の小さい物質である SPM は準備書 p9-1-41 に掲載のとおりであり、西九条町で現況 0.025mg/m<sup>3</sup>、大和北道路の完成後 0.026mg/m<sup>3</sup> と予測しており、大きく現況値を変えるものではないと考えています。（県）
- 現状の国道24号の交通量に対して、大和北道路ができると交通量はどうなるのか。
  - 現国道24号の交通量は約6万台であり、将来は国道24号が約3万台、大和北道路が約4万台で合わせて約7万台となり、今より約1万台増える程度です。（県）
- 高架構造の高さはどうなるのか。テレビの受信障害が今もあり、高架下から電波を取っている。八条高架橋下を大和北道路が通れば電波障害があると思うがどう考えているのか。
  - （スライドの断面図により説明。）  
国道24号の建築限界4.5mに高架の桁厚等を加え、杏町付近で約10mの高さとなります。  
電波障害については事業実施段階で事前調査を行い、大和北道路が原因で電波障害がある場合は、共同アンテナや有線等の対策を地元と相談させて頂き補償します。工事実施段階で再度説明会も行います。（国）
- 今後も地元に来てもらう予定はないのか。JR線の下をくぐり墓へ行く生活道路があるが、大和北道路により分断されないのか。その道はどうなるのか。
  - 現段階は、既存の地図や現況を見て都市計画決定するための設計の段階です。事業実施段階では、事業予定者である国が地元に入り、測量や設計を行うため地元の説明を行い、正確な現地状況を把握して動線や沿道への出入りを計画した図面等を作成します。その上で、今の説明会より細かい単位で地元と相談させて頂き、図面等を修正していくこととなります。（国）